

## タブレット端末向け数学教材アプリについて

タブレット端末で利用できる数学教材アプリについて、現在確認できている分について報告します。  
iPadでの利用を想定したものです。

なお、アプリの価格は購入時のもので、変動が激しいようです。

(2012年9月)

### Quick Graph



無料

グラフを表示させるアプリ

2変数関数についての3D表示ができることが特徴である。

陰関数、極方程式も扱うことができる。

パラメータを含む関数を扱うことができないので、動的なものを扱うことはできず、考えているグラフが実際にどうなっているかを確認する程度に使うのが主になりそうである。

### Math Flyer



有料 (85 円)

グラフを表示させるアプリ

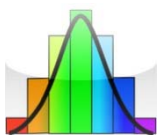
パラメータを含む関数を表示させ、パラメータを変化させることでグラフの変化を観察することができる。(画面にはパラメータは表示されず、代入されている値が表示される。)

不等式が表す領域についても表示が可能である。

また、あらゆる  $x$  についての  $y$  の値を表形式で表示できる。(Numbers などの表計算アプリにエクスポートすることはできなさそうである。)

陰関数、極方程式を扱うことはできなさそうである。

### Math Graphing XL



有料 (850 円)

グラフを表示させるアプリ

パラメータを含む関数を表示させ、パラメータを変化させることでグラフの変化を観察することができる。

また、定義された関数を組み合わせて新たな関数を定義することも可能である。

関数の定義などの命令が非常にわかりづらく、現段階では利用が困難で、こういったことができるかは未知数である。

## Apollonius



有料（85 円）

作図アプリ

タップして点を設定でき、それらの点を選択することで、直線（垂直二等分線、角の二等分線など）や円を描くことができる。

また、点を動かせばそれに応じて、直線や円も動く。

座標という概念は持っていない。

印象としては、Cinderella や GeoGebra に近い印象だが、直線と円以外には対応していないようである。

（基本的には、定規とコンパスで行う作図をできるだけ。）

iPhone 向けアプリのため、iPad で2倍表示させると画面が粗い印象がある。また、外部モニタへの出力は対応していないらしい。

## Numbers



有料（850 円）

表計算アプリ

iPad の代表的なアプリのため、高機能である。

Excel に近いことができ、Numbers で作成したファイルを Excel 形式や PDF 形式で保存することも可能である。

当然、データ分析に利用することが想定されるが、（関数の方程式からグラフを直接表示することは不可能だが、）多くの点をプロットする方法をとれば、関数のグラフを表示させることも可能である。

～おまけ～

## Function Inspector PRO



有料（159 円）

Android のスマートフォン用のグラフを表示させるアプリ

パラメータを含む関数を表示させ、パラメータを変化させることでグラフの変化を観察することができる。

また、複数の関数の交点を表示し、選択することで座標を計算し表示できる。

陰関数、極方程式を扱うことはできなさそうである。

無料の LITE 版もあるが、交点の表示などに制約がある。